

おすすめ支援具の紹介（2）

以下に、指導におすすめの自作の支援具を紹介します。簡単に作れるものばかりを紹介しています。

支援具	ねらい	説明														
 <p style="text-align: center;">クラス旗（例）</p> <p>これは、以前に筆者が小学部5年生のあるクラスを担当していたときのもので、キャラクターを布の表裏両面に描き、適当な長さの棒をつけ、完成です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスと一緒に移動できること ・集団行動 	<p>右の絵のように、クラスの旗を先生が持って、先頭を歩きます。先生がもう一人後ろの方で行動を補助します。クラスの旗を目印に行動できるようになることで、遠足や修学旅行などでも、先生に手をつながれなくても一人でカッコよく歩くことができます。クラスで給食を取りに行く時や教室移動など、日常生活のいろんな場面で練習していくことが必要です。なお、先頭で旗を持つのは、子どもよりも先生がよいでしょう。旗をはっきりと見える位置にあげて、子どもたちの行動のようすを確認していく必要があるからです。</p> <p style="text-align: right;">バスガイドさんの持つ旗をヒントにしました。</p> 														
 <p style="text-align: center;">修学旅行絵本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の歌を歌うこと ・修学旅行の大まかな流れを見ること 	<p>1 ページが A5 (A4 の半分) の大きさの絵本です。修学旅行の事前学習をする時や、修学旅行が近付いてきたときに、クラスの朝の会などで歌に合わせてめくっていきます。クラスの本棚に立てておくと、休憩時間に見ている子どももいます。デジカメ写真を A4 サイズにのばして、厚紙に張り付けて作ります。子どもたちの注目は抜群です。</p> 														
 <p style="text-align: center;">週間予定表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週間の予定（曜日によって異なる活動など）を知ること ・下校時に今日の活動の終わりを知らせること 	<p>クラスに何げなくかけておきます。大きさが A4 サイズほどのホワイトボードで作ります。曜日ごとの色は、PIC カードの使用にならって、決められている色にしました。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td><td>日</td> </tr> <tr> <td>緑色</td><td>水色</td><td>白色</td><td>茶色</td><td>黄色</td><td>ピンク</td><td>赤色</td> </tr> </table> <p>ホワイトボードに、同じ大きさに切った曜日ごとの色の色画用紙を貼り付けます。曜日によって異なる活動や遠足などの行事をカードで貼って、示します。</p> <p>下校時（終わりの会）で、「今日はおしまい」と言いながら、下の写真のような矩形の厚紙を上貼りし、今日の曜日のところを隠します。この例のように、月曜日からはじめて、休みが来て一週間が終わりという示すことがわかりやすいようです。</p>	月	火	水	木	金	土	日	緑色	水色	白色	茶色	黄色	ピンク	赤色
月	火	水	木	金	土	日										
緑色	水色	白色	茶色	黄色	ピンク	赤色										

